

(1) 総合評価 100点満点中48点。

- 任期半ば弱（1年9カ月）において、マニフェストの作成・実行・評価というマニフェスト・サイクル全体の取組みとして、概ね良好な結果であり、及第点に達していると評価できる。
- この間、福田市長は、マニフェストに掲げた政策を「市政への考え方」（施政方針）や単年度のアクションプログラムに位置づけ、短期的に実現すべき政策に関しては新たな組織や市長をトップとする推進体制を整備し、実現に努力してきた。そのスピード感は注目に値する。
- ただ、マニフェスト自体が、政策の数を絞り、かつ数値目標など具体的な記述をしない「重点型＋抽象型」であるため、政策目標にあいまいな部分があったり、また、実務的にみると当初から実現が困難だと思われる項目も含まれていた。

(2) 評価の内訳

①マニフェスト自体の評価 20点満点中10点で、得点率50%（100点満点に換算して50点）。

- 平均的なマニフェストであると評価できる。

②マニフェストに掲げた政策の進捗評価 60点満点中31点で、得点率52%（100点満点に換算して52点）。

- 任期の中間点において、市長のリーダーシップのもとで、マニフェストに掲げた政策は概ね順調に進捗していると評価することができる。

（さらに詳細内訳）

【マニフェストに掲げた個別政策の進捗評価結果】

- マニフェストに掲げた個別政策の進捗評価結果を平均した得点は35点満点中17点で、得点率49%（100点満点に換算して49点）という結果であり、任期の中間点において、概ね順調な進捗であると評価できる。

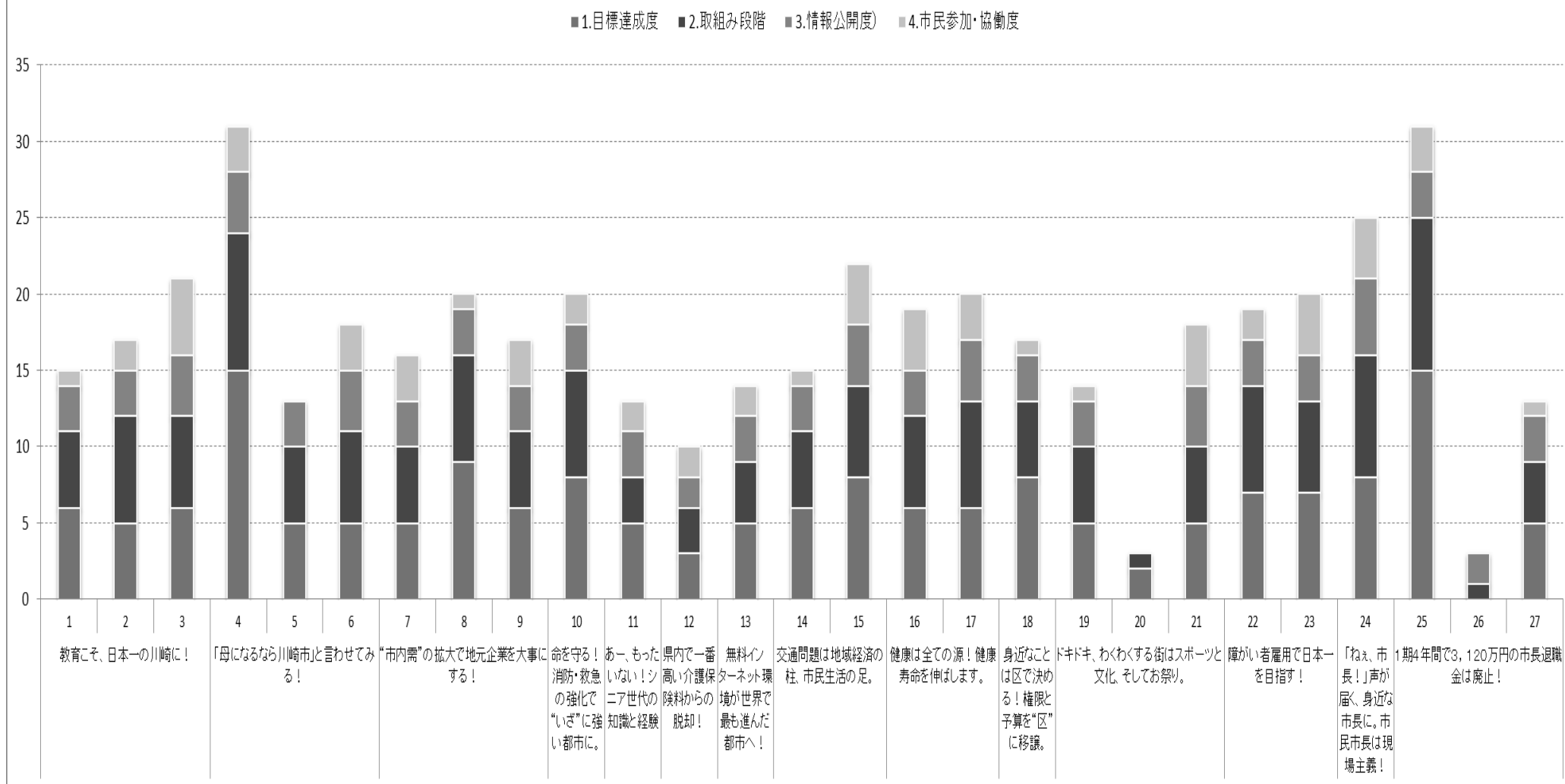
【マニフェスト実施における全体的な取組みの評価】

- 市長のリーダーシップのもと、マニフェストに掲げた政策の実行体制も構築されつつあり、25点満点で14点、得点率56%（100点満点に換算して56点）という概ね良好な評価結果である。

③マニフェスト・サイクルの評価 20点満点中7点で、得点率35%（100点満点に換算して35点）。

- 任期の中間点において外部の第三者評価を実施したことが評価できる。評価結果を今後の政策運営に生かしていくことで、マネジメント・サイクルすなわち「マニフェスト・サイクル」が機能するよう期待したい。

マニフェストに掲げた政策の進捗評価(個別政策の進捗評価結果)



☆施策通し番号(1~27)は、マニフェストの14の政策項目の記述を施策ごとに分離したものです。

☆報告書の詳細版は 自治創造コンソーシアムのホームページで公開します <http://www.jichi.org/>